



京都市子育て支援総合センター こどもみらい館 開館20周年記念冊子

絵本の森からの贈りもの



絵本の森へようこそ！

こどもみらい館

表紙イラスト「みどりのいちじく」(永田 萌)

この冊子で紹介する絵本のなかには本屋さんで手に入らない本もあります。ぜひ図書館で探してみてください。

この冊子の絵本紹介ページは
 ・こどもみらい館に勤務する図書館司書、保育士、幼稚園教諭、臨床心理士、一般職員、および子育て支援ボランティア
 ・京都市内の保育園(所)、幼稚園、認定こども園に勤務する保育士、幼稚園教諭、保育教諭

により構成されています。

もくじ

ごあいさつ	01
〈SPECIAL TALK〉永田 萌×中川敦子	02
こどもみらい館の一日	04
子育てに大切な“愛着”ってなあに？	06
みらいちゃん絵本記録	08
京都市内の保育現場からのメッセージ	22
〈こどもみらい館開館20周年記念 特別寄稿〉松田素子	24
こんなときこんな絵本	25
こどもみらい館スタッフ おすすめ本16冊	32
こどもみらい館“子育て図書館”へのいざない	34
タイトルさくいん	36



ごあいさつ

ようこそ絵本の森へお越しくださいました。ここは絵本の花が咲き、絵本の実がなるすてきな森です。ページを開いて一歩、森の小道に入り込んでいただければ、たくさんの発見があることをお約束します。

この冊子を作ったこどもみらい館では、子育て図書館を中心にいろいろな絵本を紹介する取り組みをしています。絵本作家でもあるわたしも読み聞かせなどの場に同席させていただくと、小さな赤ちゃんから少し大きなこどもたちまで、瞳をキラキラさせて絵本の世界に入っていく様子にとっても感動します。

お父さん、お母さんはもちろんですが、先生たちの声でお話を読んでもらい、いっしょに絵を見ることが、

心を深くやわらかにたがやして、夢の種をそっと埋めることになるのでしょうか。そしてそれは、自分で本を読み、見知らぬ世界への想像をふくらませ、あこがれを育てることにつながります。

こうして出会った絵本は、生涯のともだちとなり、いつの日も心によりそってくれます。「絵本の森からの贈りもの」と名付けたこの一冊が、みなさまと絵本の出会いに役立ってくればこんなにうれしいことはありません。

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

館長 永田 萌



Moe
Nagata

Atsuko
Nakagawa

SPECIAL TALK

こどもみらい館 館長

tupera tupera

永田 萌 × 中川 敦子

「パンダ銭湯」「しろくまのパンツ」などユニークな人気絵本を次々と制作する絵本作家ユニットtupera tupera（ツペラ ツペラ）として活躍中の中川敦子さん（京都出身）。3年前に京都へ引っ越し越えてきて、京都で子育て中という中川さんに、永田萌館長がお話をお聞きしました。

この内容は、2019年9月16日開催のこどもみらい館開館20周年記念講演会「絵本作家として京都で子育てする日々〜ようこそtupera tuperaの世界へ〜」をもとに作成しました。

永田萌（以下、永田） tupera tuperaさんが登場したときは衝撃でした。まず、tupera tuperaというお名前。「これはなに?」「なんて読むの? 外国の人なの?」ほんとに衝撃でした。そして、とてもすばらしかった。色彩もフォルムも。切り絵のデザイン的な美しさですね。まずはtupera tuperaという名前の由来をお聞きしましょうか。

中川敦子（以下、中川） tupera tuperaは私たちのつくった造語で、意味はありません。「tupera tupera」って唱えると頭のねじがゆるんでおもしろいことが考えられるおまじないなんです。

もともと私は布作家をやっていて、「一緒にやらない?」と亀山を誘って2人で創作ユニットを始めました。これまで聞いたことのない、どこにもないユニット名をつけようと思ってtupera tuperaという名前を作りました。

永田 ご主人の亀山さん、お子さんおふたりと京都へ引っ越し越えていかがでしたか。

中川 引っ越し当時、娘は小3でした。学校が始まって2日目でもう友だちができました。それから3年ですが、まだそんなもんかと思うくらい京都がしっくりきています。もうずっと長く京都に住んでいるような気持ちです。

京都での子育てが特別だと思うのは、世界遺産が遊び場だったりすること。下鴨に住むお友だちは糺の森が遊び場だし、私たちは上賀茂神社の近くなので、ならの小川で子どもたちは川遊びしている。歴史とともにある街だなあと実感しています。

永田 お子さんの存在から創作の影響を受けることはありますか。

中川 子どもが生まれる前から絵本をつくっていたので「特別な影響は受けてない」と言っていました。オンオフがはっきりしてないので、影響がないわけがないですね。親が絵本作家だからといって、子どものために特別に何かしてあげるといことは少ないかなと思います。みんな自分と違う環境の人をいいな、と思うものですよ。子どもたちもこれが普通と思っています。

永田 わが家の息子は「世の中の母親というものはみんな締め切りがあるんだ」と思っていたようです(笑)。子育てと仕事の両立は大変でしたが、その反面、息子がなくて、すべての時間、絵を描いていられたら、こんなに長く描き続けてなかったらと思います。あのころが黄金期だと今は思います。

中川さんは「雑貨店に絵本が置いてあったり、コミュニケー



ションツールとして使える絵本があってもいい」とさきほどおっしゃっていましたが、新しい絵本観だと思えます。絵本の可能性がどんどん幅広くなっていきますね。

中川 絵のついてる本はすべて絵本。本屋さんに行くとき「子どもの本はこちら」と場所が分かれています。子どもがいる人はそちらへ行きますが、子どものいない人は行ってはいけない場所なのかという気持ちになります。絵本の可能性はまだたくさんあるし、大人もぜひ読んでほしいと思います。物として飾っておく。絵本があるだけでうれしくなる。1つの本を通じてコミュニケーションが生まれる。そんな絵本があってもいいと思います。

永田 図書館にも tupera tupera さんの絵本はたくさんあります。どれも修理の跡があって、たくさん子どもたちによく読まれていることがわかります。これからも楽しい絵本をつくってくださいね。



講演会では絵本ライブも行われ、乳幼児連れの親子を含む110名近くが絵本を楽しみました。スクリーンに映し出された絵本を見ながら、リズムカルに体をゆらしたり、動作をつけたり、絵本ごとに声色を変えたりと大人も子どもも tupera tupera ワールドを楽しみました。



中川敦子 なかがわ・あつこ
(tupera tupera)

亀山達矢と夫婦で絵本作家ユニット「tupera tupera」として活躍。絵本やイラストレーションをはじめ、工作、ワークショップ、舞台美術、アニメーション、雑貨などで幅広く活動。NHK Eテレの工作番組『ノージーのひらめき工房』のアートディレクションも担当。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

おすす
めえほん



なにをたべたかわかる?

長 新太〔作・絵〕 2003年／絵本館

娘が小さい頃、寝る前にいつも読んでいました。衝撃的な展開なのに、長さん独特のゆるやかな絵と言葉で、なぜかほっこりしてしまう絵本です。

こども みらい館の一日



こどもみらい館が大好きなみらいちゃん、
今日は何して遊ぼうかな。



9時

こどもみらい館 到着

わーい、一番乗りだあ！
みらいちゃん、走っちゃだめよ〜。



10時50分

ストリートオルガン演奏と パネルシアター (1階 こども元気ランド)

ストリートオルガンは、
きれいな音色だね。
みんなと一緒に歌うと楽しいね。
※1日3回(10:50、14:00、15:30)



※ストリートオルガン演奏とおはなし会は、イベント等の都合により中止となる場合があります。
また、開催時間は2019年度のもので、変更になる場合があります。

11時

おはなし会

(3階 子育て図書館)

ねこちゃん、どうなるのかな、
わくわく…

※1日2回(11:10、14:20)



12時

ランチ (1階 レストラン暖感)

おなかすいたね～。なに食べようか。
オムライスがいい～。



13時

コロコロコロ～。みらいちゃん、木の玉の
砂場(こども元気ランド)がお気に入りね。木
のおもちゃってぬくもりがあつていいね。



16時

今日もたくさん
遊んだね!
楽しかったね!
さあ、おうちへ帰ろう。



※ストリートオルガン演奏とおはなし会は、イベント等の都合により中止となる場合があります。
また、開催時間は2019年度のもので、変更になる場合があります。

子育てに大切な“愛着”ってなあに？

小さい頃に「この人がいれば大丈夫」という人ができると、その人が安心の基地となり、外の世界にも気持ちが向き、踏み出してみたくになります。ときには不安なことや嫌なことに会うことも…。

そんなとき安心の基地である人のところに戻ってきて、安心感を満タンにすると、また出かけていきたくなのです。そのような繰り返しの中、人に対する信頼感、大切にしてもらえる自分自身に肯定感が育まれ、この世界って素敵だなと思えるのです。このような心の絆を“愛着”といいます。



※この冊子で紹介した絵本は出版社品切の場合もあります。ぜひ図書館で探してみてください。

大好きが伝わる絵本

だっこだっこ だーいすき

かみじょう ゆみこ〔作〕
100% ORANGE〔絵〕
2008年／福音館書店

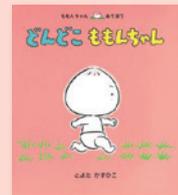


「抱っこ＝ぎゅうと抱きしめてもらう。それだけで満たされる気持ちはたくさんある。読み終わった後、思わずみんなでギューッとしたくなる絵本です」(保育士)

「抱っこは子どもにとって『守られている』と感じる事ができるとも大切なスキンシップです。この絵本のように、子どもの『だっこ』に『おいで』と応えてあげたいです」(保育士)

どんどこ ももんちゃん (ももんちゃんあそぼうシリーズ)

とよた かずひこ〔作・絵〕
2001年／童心社



「最後はお母さんに『とん』と抱き着いてお話が終わるのですが、そのシーンになるとマネして子どもとぎゅっと抱き着いて笑顔になれます」(保育士)

「作者はシリーズを通して、お母さんを登場させるようにしているそうです。いつも元気なももんちゃんも最後はお母さんの元に帰ってきて、ホッとかわいい笑顔です」(司書)

あなたがだいすき

鈴木 まるる〔作・絵〕
2002年／ポプラ社



「誕生日の時、1対1で読んで大切に思っていること伝える時間になっています」(保育士)

「『あなたが必要』というメッセージがストレートに伝わります。この絵本の中の『あなた』は聞き手によって変わるので、大人の方に読んだ時も感動されました。動物たちが男の子をギューッとしている絵もかわいくて温かいです」(保育士)

ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン〔作・絵〕
岩田 みみ〔訳〕
1978年／ほるぷ出版



「いたずらをして、大きくなっても、あなたが一番かわいい、あなたが大好きというメッセージに溢れています。2歳くらいまでの子は最後のページの『おたんじょうびおめでとう』と一緒に言うのが楽しいようです。4、5歳の子どもたちに読むと『ちびちびが大きくなっても、みんなちびちびが好きなんだね』と話しています」(保育士)

心の絆の大切さが伝わる絵本

ちょっとだけ

瀧村 有子〔作〕 鈴木 永子〔絵〕
2005年／福音館書店

「弟が生まれて、お姉ちゃんが我慢しながらも“ちょっとだけ”お母さんに求めて、何とか頑張ろうとする気持ちがとても伝わってきます。お母さんとの愛着関係が築かれているからこそ、弟に譲ることができて、でも、全部我慢するのは嫌で、というバランスが絶妙だと思います。最後に思い切り甘える／甘えさせる場面も素敵です」(幼稚園教諭)



おこりんぼママ

ユッタ・パウアー〔作・絵〕
橋本 香折〔訳〕 2000年／小学館

「母の大きな愛を感じます。誰でもお母さんに怒鳴られた経験、子どもを怒鳴ってしまった経験があると思いますが、最後には大きな愛情に包まれほっと優しい気持ちになります。ペンギンのぼくの大事な体のパーツが吹っ飛んでいく場面は笑いが起きますが、ペンギンのお母さんが一つ一つ大事に縫い合わせてくれる場面では静かで温かい空気が流れます」(幼稚園教諭)



だいじょうぶ だいじょうぶ

いとう ひろし〔作・絵〕
1995年／講談社

「おじいちゃんと幼児の話ですが、絶対的に受け止められ、大好きな人ができると、ちょっと怖いことや悲しいことがあっても、その人のところに戻ると心が元気になります。愛情をいっぱいもらうと、今度は人にも渡したくなります。そんな心がホッと温かくなるような絵本です」(幼稚園教諭)



いちばんあいされてるのはぼく

宮西 達也〔作・絵〕
2010年／ポプラ社

「本当の親子でなくても、深い愛情をもって、子育てをするティラノサウルス。パパに愛されていることを感じたり、やきもちを妬く子どもたち。そして最後に『一番愛されてるのはオレ』ということに気づくティラノサウルスの姿に、父子の愛情が感じられます。“血がつながってなくても”ということ“父”というのがポイントです」(保育士)



シリーズあり

大人のための“愛着を知る本”

0~3歳の これで安心 子育てハッピーアドバイス 3~6歳の これで安心 子育てハッピーアドバイス

明橋 大二〔著〕 太田 知子〔イラスト〕
2017年／1万年堂出版

「自己肯定感を育む事の大切さが、マンガやイラストで分かりやすく書かれています。忙しいママ・パパでも読みやすく、図書館でも人気のシリーズです」(司書)



0・1・2歳児のココロを読みとく 保育のまなざし

エピソード写真で見る子どもの育ち

井桁 容子〔著〕 2017年／チャイルド本社

「子どものすることに最初から怒ったり止めてしまうと顔色を何う子になります。子どもなりに考えていることをどう読みとき、声を掛けるかが大切です」(幼稚園教諭)



はじめは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに

佐々木 正美〔著〕 山脇 百合子〔画〕
2017年／福音館書店

「児童精神科医の著者が、子育てに大切なことをシンプルで易しい文章で書いてとても読みやすいです」(保育士)

みらいちゃん 絵本記録



みらいちゃんのママ

絵本大好きなみらいちゃん。
これまで読んできたお気に入りの
本を紹介するわね。

首がすわったよ

みらいちゃん

0歳前半

※この冊子で紹介した絵本は出版社品切の場合もあります。ぜひ図書館で探してみてください。

生まれてきてくれてありがとう。1日1日と顔が変わり、体重も倍以上増えたね。寝返りしたり、おもちゃをつかんで口へ運んだり、手足をバタバタしたり。自分の意思で体を動かそうとするようになったね。

あそび



いないいないばあ

松谷 みよ子〔作〕 瀬川 康男〔絵〕
1967年／童心社

「赤ちゃんはいないいないばあ遊びが大好きです。遊びからこの絵本に移行することで、赤ちゃんが絵本に親しみを持つきっかけになると思います。絵本に書いてある文字通り読まなくてもいいし、同じページを繰り返し読んでも構いません。赤ちゃんと一緒に読む事が大切です。この絵本を読んだ後に、ハンカチやぬいぐるみでいないいないばあをしたり…と、絵本から遊びにも発展できます」(保育士)



わらべ
うた



シリーズあり

ととけっこうよがあけた

こばやし えみこ〔案〕 ましませつこ〔絵〕
2005年／こぐま社

「にわとりが色々な動物を起こしていきます。赤ちゃんの名前に置き換えて、ほっぺをつんつんしてあげながら読むと楽しいですよ。巻末に楽譜あり」(司書)

へっこぷっとたれた おせんべ やけたかな

ねーずみ ねーずみ どーこいきゃ？
(わらべうたでひろがるあかちゃん絵本シリーズ)

こが ようこ〔構成・文〕 降矢 なな〔絵〕
2018年／童心社

「わらべうたの言葉は、読んでいながら自然とリズムが生まれ体が優しく揺れるので、この時期の赤ちゃんが楽しむのにピッタリ。遊び方も載っています」(司書)



みらい館の
催しの紹介



ベビーマッサージ 2ヶ月～ハイハイを始めるまで

赤ちゃんを優しくマッサージして、親子の絆を深め、心と体の成長を促します。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

絵本はいつから読めばいいの？

首がすわるまでの赤ちゃんは、視力が発達していないため、絵を認識することができません。無理に絵本を読もうとせず、赤ちゃんの目を見て、ママ・パパの声で赤ちゃんにたくさん話しかけてあげて、スキンシップをとりましょう。

首がすわって、ママ・パパが支えておひざに座れるようになったら、絵本を使ってたくさんコミュニケーションをとりましょう。最初から最後まで読まなくてもいいので、絵を見ながらおしゃべりをしたり、ゆっくり繰り返し読んであげてください。大切なのはママ・パパも楽しんで読むことです。



わらべうた「いぢり」

あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん

小林 衛己子〔編〕 大島 妙子〔絵〕
1998年／のら書店

「だーるまさん だーるまさん」「おつむてんてん」など、あかちゃんとお母さんが向かい合っただけですぐにできる簡単で楽しい顔あそびや手あそびがいっぱい。



【CD】あかちゃんとお母さんのあそびうた

小林 衛己子〔歌〕
2003年／キングレコード

「ぎっこんばっこん」「ゆびぎり」など41曲とカラオケ版6曲の全47曲を収録。



ふれあいたっぷり！ 赤ちゃんのわらべうたあそび

CD付

久津摩 英子〔著〕
2013年／チャイルド本社

0、1、2歳児にぴったりのわらべうた各12曲に、子守唄2曲を加えた計38曲を収録。ふれあいたっぷりの遊びを、イラスト付きで紹介。

赤ちゃんに絵本を読むときに…

赤ちゃんからママ・パパの顔も見えるよう、三角形の位置関係で読みましょう。

赤ちゃんが反応をしたら、それに応えてあげる事が大切です。絵本を読みながら赤ちゃん顔を見合わせ、言葉と表情のやり取りを楽しみながら、親子で心を通わせてください。



赤ちゃん絵本のふれあい会 4ヶ月～1歳未満

たくさんの絵本を囲んで、親子でふれあい遊びをしたり、わらべうたを歌ったりするイベントです。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

お座り
できたよ

0歳後半



おすわり、はいはい、つかまり立ち、それからつたい歩きと自分で行きたいところへ行けるようになってうれしそうね。「マンマンマ…」と声を出して楽しそう。人見知りもちょっぴり出てきたね。

ふれあい



ぴょん

まつおか たつひで〔作・絵〕
2000年／ポプラ社

「本の中の動物の動きに合わせてお母さんにぴょん(高い高い)してもらおうと、どのお子さんもとていい顔に。繰り返しがおもしろく乳児さんも楽しめます」(保育士)



あかちゃんたいそう

鈴木 まるも〔作・絵〕
2011年／小峰書店

「言葉を読みながら親子でスキンシップがとれます。みらい館のイベントでも、みなさん楽しみながら絵本のマネをしてくれます」(保育士)



ぶう ぶう ぶう

ぶう ぶう ぶう

(あかちゃんえほんシリーズ)

おーなり 由子〔作〕 はた こうしろう〔絵〕
2013年／講談社

「ぶう」「ぶぶう」の音で、あかちゃんとお母さんのスキンシップタイムが、もっともっと楽しく、笑顔がいっぱいになる一冊です。



他のシリーズも
おすすすめ!

ことば

じゃあじゃあびりびり

まつい のりこ〔作・絵〕
1983年／偕成社

「『じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー』など赤ちゃんの身近な音がたくさんつまった絵本。鮮やかな絵とリズムカルな言葉に赤ちゃんがよく反応してくれます」(司書)



あ・あ

三浦 太郎〔作・絵〕
2013年／童心社

にっこり笑顔の表紙を開くと、「も・も」。2つの音が重なり、「と・と」「く・く」という弾む音と、シンプルであたたかい絵が楽しい。



むにやむにゃきゃつきゃつ

柳原 良平〔作・絵〕
2009年／こぐま社

「ぶくぶく」「どすーん」など、あかちゃんの好きな擬音語、擬態語に、音をイメージするユーモラスな切り絵をあしらった絵本。



がたんごとな がたんごとな

安西 水丸〔作・絵〕 1987年／福音館書店

走る汽車にのせてもらうのは、哺乳瓶やコップ、スプーンにりんごやバナナも。「子どもの身近なものが出てくるので、よく見て楽しんでいます。言葉のリズムが楽しく、繰り返しなので、赤ちゃんから楽しめます」(保育士)

みらい館の 催しの紹介



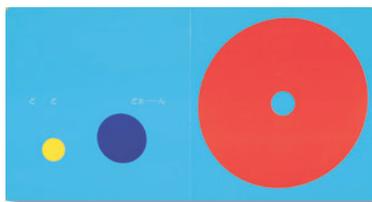
ほっこり子育てひろば ～離乳食～ 5ヶ月～1歳まで

「どうして食べない? どこまで食べるの?」離乳食の悩みについて、保護者同士が語り合います。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

0歳後半

いろ
ろ



ごぶごぶ ごぼごぼ

駒形 克己〔作・絵〕
1997年／福音館書店

「ページに丸い穴が開いていて、指を入れて遊んだり、すべてのページにある赤い丸を探すのも楽しいですよ」(司書)



シリーズあり



いろいろばあ

新井 洋行〔作・絵〕
2011年／えほんの杜

「赤、青、黄色の絵の具が『ばあ!』と飛びだします。擬音がたくさん使われていて、見ても聞いても楽しい絵本です」(司書)

まんま



くだもの

平山 和子〔作・絵〕 1979年／福音館書店
「くだもの絵が大きく描かれていて分かりやすいです。読み手がくだものを食べるマネをすると、同じように子どもたちもそれをマネをしています」(保育士)



あそび



こちよぼこちよぼこ／あっぷぷぷ (あかちゃんあそびシリーズ)

中川 ひろたか〔作〕 村上 康成〔絵〕
2005年・2003年／ひかりのくに

「こちよこちよやにらめっこで赤ちゃんの笑顔がいっぱい見られます。最後の『もっかいやって〜』で、何度でも遊べます!」(司書)



だるまさんが (だるまさんシリーズ)

かがくい ひろし〔作・絵〕 2008年／ブロンズ新社
「『だ・る・ま・さ・ん・が』のリズムに合わせて、子どもたちと一緒に声を出し、体を揺らして楽しめます」(保育士)

なんね

おつきさまこんばんは

林 明子〔作・絵〕
1986年／福音館書店

「0歳児にも人気で、『おつきさまこんばんは』のフレーズに合わせて子どもたちがべこりと頭を下げるしぐさがかわいいです。優しいタッチの絵に大人も癒されます」(保育士)



ゆりかごのうた

北原 白秋〔詩〕 高見 八重子〔絵〕
2019年／ひさかたチャイルド

北原白秋の美しい子守歌が絵本に。「赤ちゃんはママ・パパの声が聞こえると安心します。体を揺らしたりトントンをしながらかゆり歌ってみてください。」(司書)



ほんちんぱん

柿木原 政広〔作〕 2010年／福音館書店
「食パンやあんパンなど子どもたちが大好きなパンがモチーフで簡単な手遊びも色々あるので楽しめます。リズムカルに読むのが面白い!」(保育士)



まんまるねんね

まんまるねんね

黒井 健〔作・絵〕 2018年／ほるぷ出版
「まん丸になって眠る動物たち。赤ちゃんはどうやって寝るのかな? 包み込まれるような優しい絵がかわい絵本です」(司書)



親子でエアロピクス 首がしっかりすわってから歩き始めるまで

子どもを抱っこしながらのエアロピクスで、リフレッシュします。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。





うたが大好き

1歳

歩けるようになって、どんどん興味が広がってきたね。指差しや身振りもまじえての簡単なおしゃべりが楽しいね。音楽に合わせて楽しそうに身体を動かしたり、感情表現が豊かになってきたね。

きかえ

おててがでたよ

林 明子〔作・絵〕
1986年／福音館書店

「絵本を数回読んだ後着替えの場面で絵本のフレーズを口ずさむと、子どもが自分でやってみようとする姿があります」(保育士)



パンツのはきかた

岸田 今日子〔作〕
佐野 洋子〔絵〕
2007年／福音館書店

「パンツ、オムツを自分ではきだす1・2歳児が目で見えてわかりやすくマネできます。歌がついているので覚えやすく絵もユニークでほっこりします」(保育士)



どうすればいいのかな？ (くまんの絵本シリーズ)

渡辺 茂男〔作〕 大友 康夫〔絵〕
1977年／福音館書店

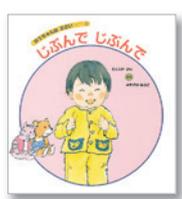
「お着がえがうまくできなくて奮闘するくまくん。上手にできなくても、大人が口を出さずに待ってあげれば、子どもは自分なりに考えてやってみます」(司書)



じぶんでじぶんで

とくなが まり、みやざわ はるこ〔作〕
1998年／アリス館

「1・2歳児によく読んでいます。子どもたちもこの絵本を手に取り、保育士のまねをして読んでいます。ボタンに興味が出てくる頃に良いと思います」(保育士)



まんま



やさいのおなか

きうち かつ〔作・絵〕
1997年／福音館書店

「ハンコ遊びや野菜スタンプの時に使っています。好きなページを子どもたちと見て『今日の給食に出てたね』など話しながら読んでます」(保育士)



おべんとう

小西 英子〔作・絵〕
2009年／福音館書店

色んなおかずが次々とお弁当箱に詰められる様子が絵本に。「うた、手遊びをしながら1歳児が食に興味を持って見えています」(保育教諭)



おいしいよ

せきね えいいち〔詩〕 わかやま けん〔絵〕
2019年／チャイルド本社

『『さくさく』や『ちゅるん』など、色々な果物を食べる時の音や食感を子どもが楽しんでいます」(保育士)



きゅっ きゅっ きゅっ

林 明子〔作・絵〕 1986年／福音館書店

「子どもは顔を拭かれるのを必ず嫌がりますが、普段この絵本を読みながらマネをして遊んでいると、ごはん中も嫌がらずに拭かせてくれます」(保育士)

みらい館の 催しの紹介



ほっこり子育てひろば ～いつくしむ～ 3ヶ月～2歳6ヶ月

「子どものかわいいところ」「子育てのしんどいところ」など、子育てについて保護者同士が語り合います。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

あ
ん
よ

くつつあるけ

林 明子〔作・絵〕
1986年／福音館書店
「くつつあるいたば
たばたばた」。赤ちゃ
んのくつつが歩いたり、
ジャンプしたり…自分で歩ける喜びを表現。



あ
そ
び

きんぎょが にげた

五味 太郎〔作・絵〕
1977年／福音館書店
「きんぎょがどこかを教
えずに、子ども自身が気
づくまで待つのも楽しい
です。違うところを指さしてもそれは子どもの気
づきなので受け止めてあげています」(保育士)



いちにのさんぽ

ひろかわ さえこ〔作・絵〕
1999年／アリス館

「1歳児の散歩は目的地に着くことより
も、屋外で様々なものに触れることが大
切です。子どもたちの発見をゆっくり見
守ってあげたいです」(保育士)



きいろいのはちょうちん

五味 太郎〔作・絵〕 1983年／偕成社
ちょうちん! と思ってページをめくると
…。『絵本の中の小さな蝶を見つけて
指さして楽しんでいます』(保育士)



とつとつとつとつ

まつい のりこ〔作・絵〕
2003年／童心社
ねこさんがくつはいて、とつとつとつとつとつとつ。ありさん、ふたさん…あたたかみにあふれる絵が好評。

ころころころ

ころころころ

元永 定正〔作・絵〕 1982年／福音館書店
「丸が落ちてしまうシーンで子どもは大笑い。
コロコロ…と言いながら、丸シールを貼っ
たり、ボールを転がしたりして遊びに発展で
きます」(保育士)



こ
と
ば



もこもこもこ

谷川 俊太郎〔作〕 元永 定正〔絵〕
1977年／文研出版
「擬音語だけなのに1ページ1ページに
楽しさがあります。1歳くらいになると子
どもが指でなぞりながら『もこもこ』と読
んでいてかわいいです」(保育士)



ね
ん
ね

ねないこだれだ

せな けいこ〔作・絵〕
1969年／福音館書店
「お昼寝前に読むと効
果があります。おどか
すのではなく『さあねん
ねだよ〜』と誘いやすいです」(保育士)



シ
リ
ー
ズ
あ
り

おやすみなさいネムネムちゃん

山岡 ひかる〔作・絵〕 2010年／くもん出版
「甘い香りの桃のネットや、ふわふわの食パ
ン。眠れないネムネムちゃんのために、皆
が極上のベッドを用意してくれます。ネム
ネムちゃんが眠れたのは…?」(司書)



おやすみ、ぼく

アンドリュー・ダッド〔作〕 エマ・クエイ〔絵〕
落合 恵子〔訳〕 2009年／クレヨンハウス
『「おやすみ、ぼくのあしさん」オランウータン
の子どもが、眠る前に自分の体に呼びかけ
ます。是非お子さんの足や手を触りながら
読んでみてください』(司書)



ごあいさつあそび

(あかちゃんのおそびえほんシリーズ)
きむら ゆういち〔作・絵〕 1988年／偕成社
「読み手と一緒に絵本の登場人物の言葉
を楽しみながら真似をすることで、言葉を
獲得していくことができます」(幼稚園教諭)

あ〜ん! はみがき 乳幼児

子どもの大切な歯を虫歯にしないため、
歯科衛生士の話を聞きます。



※2019年度の催しのため、内容が
変更になる場合があります。

おちあしなが
お気に入りの



2歳

走ったり、ジャンプしたり、登ったり、動きが活発に。物を何かに見立てたり、自分が何かになったつもりでごっこ遊びをしたり、遊びの幅が広がってきたね。言葉が増え、お話し上手になってきた半面、「自分で!」「イヤ!」と自己主張が強くなる…イヤイヤ期の始まりかな?

イヤイヤ

いやだいやだ

せな けいこ〔作・絵〕
1969年／福音館書店
「イヤイヤ期の子どもたち

もこの本を見ると思わず笑っています。子どもたちの名前に置き換えて楽しんでいます」(保育士)



シリーズあり

ぞうちゃんの いやいや

三浦 太郎〔作・絵〕
2016年／講談社
ぞうちゃんの「いやいや」なもの、好きなものは…。読んでいるうちにしげんと、豊かな感情表現が引き出せます。



シリーズあり

いやっ!

トレーシー・コーデュロイ〔作〕
ティム・ワーンズ〔絵〕
三辺 律子〔訳〕
2013年／プロンズ新社

「何でも『いやっ!』と言っていたら困ったことになって…。次に言えるようになったステキな言葉は?」(司書)



トイレ

ぶくちゃんのすてきなパンツ

ひろかわ さえこ〔作・絵〕
2001年／アリス館
「パンツをはきだした子どもたちはぶくちゃんに共感できるのか、何度も読んでと持ってきました。失敗しても洗ったら大丈夫というメッセージも温かいです」(保育士)



シリーズあり



ノンタンおしっこしーしー

キヨノ サチコ〔作・絵〕
1987年／偕成社
「大好きなノンタンもトイレでおしっこをしているのを見て、トイレに行く子どもがいました」(保育士)



人気シリーズ

ゆっくとすくトイレでちっち

たかてら かよ〔作〕 さこももみ〔絵〕
2010年／ひかりのくに
「トイレトレーニングによいと思います。子どもに楽しくトイレのことを伝えられます」(保育士)



シリーズあり

みらい館の 催しの紹介



ほっこり子育てひろば ～自我のめばえと生活習慣～ 1歳～2歳6ヶ月

子どもの生活習慣やイヤイヤ期の悩みについて、保護者同士が語り合います。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

まじろ

わにわにのおふろ

小風 さち〔作〕
山口 マオ〔絵〕
2000年／福音館書店
「ご機嫌にお風呂に入るわにわに。子どもにお風呂は楽しくて気持ちいいんだよと伝えられます」(保育士)



シリーズあり

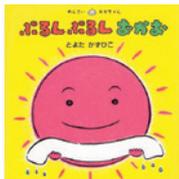
みらいちゃんのママからメッセージ

ストーリーのあるものでも、シンプルで分かりやすいお話なら聞けるようになってきました。イメージを膨らませる力がついてきて、登場人物と自分を重ね合わせてお話を楽しんでいるみたい。



ぶるんぶるんおかお

とよた かずひこ〔作・絵〕
2009年／アリス館
りんごさんがおかおをあらって、いないいないばあ。くるまさんも顔を洗って、いいおかお。あれ、ねこちゃんは？



ぞうくんのさんぼ

なかの ひろたか〔作・絵〕
なかの まさたか〔レタリング〕
1968年／福音館書店
「ぞうくんの背中に次々と乗る動物たち。ハラハラドキドキの展開が面白く、おはなし会でも人気です」(司書)



シリーズあり

おててはぴかぴか

いとう ひろし〔作・絵〕 2002年／講談社
お母さんは「てをあらいなさい!」っていうけれど…。「親しみやすい絵で子どもたちも大好きです」(幼稚園教諭)



にんじん だいこん ごぼう
日本の昔話より

植垣 歩子〔再話・絵〕 2008年／福音館書店
「有名な昔話ですが、文字が少なく未就園のお子さんでも聞いてくれます。現代風の絵も親しみやすいようです」(司書)



はいちーず

山岡 ひかる〔作・絵〕
2017年／アリス館
「子どもたちの写真を撮るふりをして、一緒にポーズを取ったりマネをしたりしています」(保育士)



つのはなんにもならないか
(おにのこあかたろうのほんシリーズ)

きたやまようこ〔作・絵〕 1977年／偕成社
「邪魔で役に立たない鬼のつのが、最後は『あつてよかったね』で終わるのが良いです。ストーリーが分かりやすく変化があり、1〜2歳児に人気です」(保育士)



あそび
ごっこ

できるかな? あたまからつまさきまで

エリック・カール〔作・絵〕 工藤 直子〔訳〕
1997年／偕成社
「ページをめくるたびに『きりん!』と動物の名前を覚えてくれたり、一生懸命に動きを真似る姿がとってもかわいいです」(保育士)



おおきなかぶ ロシアの昔話

A・トルストイ〔再話〕 佐藤 忠良〔絵〕
内田 莉紗子〔訳〕 1962年／福音館書店
「『うんとこしよどっこいしょ』と子どもたちと声を出して楽しめます。かぶがいつ抜けるのかというドキドキ感があります」(保育教諭)



これどこがち?

こどもみらい館のなかでさがしてみよう。
[ヒント] 3階だよ。

親子ふれあいあそび 首がしっかりすわってから1歳未満の乳児/1歳以上の幼児



乳児…親子でわらべうたやふれあい遊びを楽しみます。
幼児…親子でいっぱい体を動かして、ふれあい遊びや簡単な体操を楽しみます。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

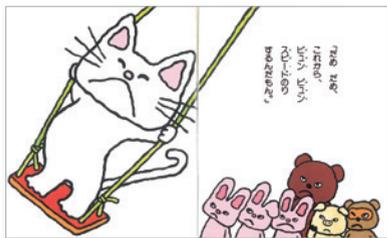


顔が描けるようになったよ

3歳

お着替えしたり…少しずつ身の回りのことが自分でできるようになってきた。お友だちがやっていることをジッと観察したり、真似してみたり、一緒に遊んだり。お絵描きも上手になってきたね。

ともだち



ココさんのともだち

片山 健〔作・絵〕
1984年／福音館書店

ココさんはなかなかみんなと遊べません。引込み思案のココさんが、みんなと遊べるようになるまでの話。



シリーズあり



ノントンぶらんこのせて (ノントンあそぼうよシリーズ)

キヨノ サチコ〔作・絵〕 1976年／偕成社

ノントンはぶらんこをひとりじめ…。『おまけのおまけのきしゃぼっぼ』のフレーズが親しみやすく、子どもたちも実際に言っている順番を待っていました(保育士)

いっしょならもっどいい

ルイス・スロポドキン〔作・絵〕
木坂 涼〔訳〕
2011年／偕成社

「一人でいることを否定せず、友だちと一緒にいることの素晴らしさを教えてくれる絵本。友だちを意識し始める頃におススメ」(司書)



はみがき

はみがきれっしゃ しゅっぱつしんこう!

くぼまちこ〔作・絵〕
2015年／アリス館

「はみがきが嫌な子ども、この絵本を読んでから、『電車が入るよ、口を開けてほしいな』という素直に開けてくれます」(保育士)



はみがきごっこ

きむら ゆういち〔作〕
長野 ヒデ子〔絵〕
2005年／佼成出版社

あこちゃんは、ぬいぐるみのワニさんの歯をみがいてあげました。「わたしも、歯みがきしたいな、ママ」。



シリーズあり

すきすき はみがき

なかや みわ〔作・絵〕
2004年／ミキハウス

「図書館で人気のくうびいシリーズ。最後にママが仕上げ磨きをしているので、なかなか歯みがきをさせてくれない子どもに読んでみてください」(司書)



がんばれ はぶらしハーマン

きむら ゆういち〔作〕 田中 四郎〔絵〕
1988年／偕成社

「歯ブラシのヒーロー、ハーマンを主人公にしたストーリーを展開させながら、なぜ歯みがきをするのが大切なのかを分かりやすく伝えています」(幼稚園教諭)

みらい館の 催しの紹介



小麦粉ねんどであそぼう 1歳3ヶ月以上の幼児

親子で小麦粉からねんどを作り、感触を楽しんだり、色々な形あそびをします。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

き
が
え

はけたよ はけたよ

神沢 利子〔作〕 西巻 茅子〔絵〕
1970年／偕成社「子どもたちが好きなお
尻や動物が出てくるので、
楽しみながらパンツを履く
ことに興味を持てるよう
になります」(幼稚園教諭)

もうぬげない

ヨシタケ シンスケ〔作・絵〕 2015年／ブロンズ新社

「2歳児は着脱を自分でしようとする姿
が出てきて、子どもたちも『こうやって
脱ぐんやで』『手から脱ぐんやで』と主
人公に教えてあげています」(保育士)

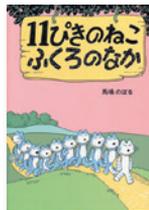
みらいちゃんのママからメッセージ

主人公の行動やストーリーを追えるようになって
きて、絵本の世界に入り込み、お話の展開を予
想できるようになってきた。楽しめる絵本もぐっと
増えたね。

11ぴきのねこ ふくろのなか

(11ぴきのねこシリーズ)

馬場のぼる〔作・絵〕 1982年／こぐま社

『『やってはいけない』』をやりたくなる
のが3歳児。仲間意識が芽生え始めて
“お友だちと一緒に”が楽しい年齢にピツ
タリです」(保育士)

そらはだかんぼ!

五味 太郎〔作・絵〕 1979年／偕成社

「ライオンくんが、はだかんぼになるまでの、アッ
と驚く楽しい展開。まさかまさかの連続で、おは
なし会ではいつも笑い声が起こります」(司書)

すいかのたね

(ばばあちゃんのおはなしシリーズ)

さとう わきこ〔作・絵〕
1982年／福音館書店「3歳児クラスの子どもが好きな
絵本です。いつも、すいかの種が怒り出したところから最後
まで笑いが絶えないくらい楽しそうに見ています」(保育士)

ばんつ さいこう!

ジャレット・チャップマン
〔作・絵〕 木坂 涼〔訳〕
2017年／ほるぷ出版「いつまでもオムツが
いいと言っている子も
これを読むとパンツ
にあこがれを感じてくれます」(幼稚園教諭)お
ね
し
ょ

だれがトイレでうんちをするの?

フレッド・エールリヒ〔作〕 エミリー・ポーラム〔絵〕
石原良純〔訳〕 2008年／学研プラス「うんちはトイレでするんだよ、と自然に教え
てくれる絵本。質問と答えが繰り返される
ので、子どもとやりとりしながら楽しく読め
ます」(司書)

おねしょ ちゃんとなおったね

宮野 聡子〔作・絵〕 2017年／教育画劇
おねしょをしてしまうことがハズカシイ
くまのくちゃん。くちゃんをそっと応
援したくなる作品です。

三びきのやぎのがらがらどん

ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン〔絵〕
瀬田 貞二〔訳〕 1965年／福音館書店「繰り返しがありつつ話に展開があるの
でわかりやすい。トルロが実在しない怪
物だからこそ、子どもの想像力をかきた
て、ワクワクドキドキできます」(保育士)

これどこかな?

こどもみらい館のなかで
さがしてみよう。

音楽であそぼう 2歳以上の幼児

親子と一緒に歌ったり、楽器を鳴らして、
音あそびを楽しみます。※2019年度の催しのため、内容が
変更になる場合があります。

自分が一番だよ



4歳

走るのが速くなってきた。声や動きも大きくなって、ぐんとパワフルになってきたぞ。もう自分のことは自分でできるし、いろんなことが理解できるようになってきた。一方で失敗を怖がったり、周りの反応を気にするところも出てきたね。

個性



ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ〔作〕 堀内 誠一〔絵〕
1966年／福音館書店

「一人ぼっちで寂しかったぐるんぱが、失敗しながらもいろんな仕事をして頑張っている姿を応援したくなる一冊です」(保育士)



ぼくがいちばん! すごいでしょ

サトシン〔作〕 山村 浩二〔絵〕
2018年／PHP 研究所

「どの動物も『自分が一番!』と胸を張って言っているのがいい。みんなそれぞれが最高に素晴らしいんだよと教えてくれる絵本です」(司書)



シリーズあり

くれよんのくろくん

なかや みわ〔作・絵〕
2001年／童心社

「くろくんのようにどんな子にも活躍できる場があります。この絵本のシャープペンのお兄さんのように、大人が味方になって、導いてあげる事が大切です」(保育士)



ことばあそび

へんしんトンネル

あきやまだし〔作・絵〕
2002年／金の星社

「言葉の変化を理解できる4・5歳児が大好きな絵本。言葉の繰り返しを楽しみながら、色々な言葉に触れることができます」(保育士)

シリーズあり



しりとりのだいすきなおうさま

中村 翔子〔作〕 はた こうしろう〔絵〕
2001年／鈴木出版

「しりとりが好きなこの年代の子どもたち。おはなし会では読み手と一緒に声を出して、絵本の中のしりとりを楽しんでくれます」(司書)



なぞなぞのみせ

石津 ちひろ〔なぞなぞ〕
なかざわ くみこ〔絵〕 2011年／偕成社

お店をめぐってお買い物をするようになぞなぞが楽しめます。見れば見るほど楽しさいっぱいみつかります。

みらい館の 催しの紹介



寒天であそぼう 1歳3ヶ月以上の幼児

親子で冷たくてプルプルした寒天の感触と、色や形の変化を楽しみます。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

ともだち

けんかのきもち

柴田 愛子〔作〕
伊藤 秀男〔絵〕
2001年／ポプラ社

「全力でぶつかってけんかできるって素敵なこと。最後仲良くしようねではなく『こんどはきっとぼくがかつ』で終わるのが子どもらしくていい」(臨床心理士)



興味

このあいだになにがあった？

佐藤 雅彦、ユーフラテス〔作〕
2010年／福音館書店
「1枚目と2枚目の写真の違いは何か？ どうしてそうなったのかな？ 想像する楽しさが詰まっていて、親子の会話も広がります」(司書)



そらまめくんのベッド

なかや みわ〔作・絵〕 1997年／福音館書店
「そらまめくんが大事なベッドを貸してあげるのを見て、子どもたちは『すごいね〜！』『前は嫌やったのになぁ』とつぶやいています」(保育士)



シリーズあり

たんぼぼ

あさがお

荒井 真紀〔文・絵〕
2015年、2011年
金の星社

ふしぎにみちた花の一生を美しい細密画で描いた絵本。花の観察に役立つヒントがたくさん！



よもぎのはらのおともだち

あまん きみこ〔作〕 やまわき ゆりこ〔絵〕
2008年／PHP 研究所

「たあちゃんが行きついたネズミの家には昨日けんかしたともちゃんが…。『先にもちゃんが『ありがと』と言ったことが素晴らしい』(司書)」



みらいちゃんのママからメッセージ

理解力や想像力が豊かになり、不思議な世界を楽しめるようになってきて、昔話をたくさん読んでいました。おばけや妖怪が出てくるお話や、冒険もののお話も大好きです。



はじめての あいうえおえほん

てづか あけみ〔著〕
2012年／パイ インター
ナショナル

子どもに親しみのあるモチーフを数多く盛り込んだイラストで構成されており、文字の形・ものの名前を楽しみながら自然に理解することができます。



おおかみと七ひきのこやぎ

グリム童話 フェリクス・ホフマン〔絵〕
瀬田 貞二〔訳〕 1967年／福音館書店

時代を経て読み継がれるグリム童話の名作。「子どもたちはこやぎに自身を重ねるようで、しんと静かになって食い入るように見えています」(司書)



かず

ひらがな



かぞえておぼえる かずのえほん

島田 ゆか〔絵〕 1996年／鈴木出版

『パムとケロ』シリーズの作者が描く、かわいい絵は隅々まで見ごたえたっぷり！ 楽しく1〜100まで数えられますよ」(司書)

よみかせ日本昔話
さんまいのおふだ

石崎 洋司〔作〕 大島 妙子〔絵〕 2012年／講談社
「小僧が知恵を絞ってやまんばから逃げるのが面白い。少し怖いけど、最後に和尚さんがやまんばをやっつけてくれるのでほっとできる」(保育士)

ももたらう

松居 直〔作〕 赤羽 末吉〔絵〕
1965年／福音館書店

おばあさんが川で洗濯をしていると、大きな桃が…。力強い絵とともに、真の昔話の面白さが味わえる一冊。



手作りランド 乳幼児

家庭にある身近な材料を使って、親子で簡単な工作をします。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。



かけっこ大好き



5歳

毎日走ったり、跳んだり、心と体がフル稼働！お友だちみんなと遊ぶのがすごく楽しいみたい。お友だちや小さい子に優しく出来るようになって、でも時々喧嘩もしちゃって…。感情がどんどん豊かになっていくね。文字にも興味が出てきて、もうすぐ1年生だ！

卒園
入学



1ねん1くみの1にち

川島 敏生〔写真・文〕
2010年／アリス館

登校、朝の会、国語、算数、休み時間…と、小学校1年生のクラスの1日を追った画期的な絵本！

おおきくなるっていうことは

中川 ひろたか〔作〕
村上 康成〔絵〕
1999年／童心社

シリーズあり



「大きくなると沢山の事ができるようになります。それを下の子に教えてあげることも大切。小さい子に優しくする事も、できるようになった事の一つです」(保育士)

みてよぴかぴかランドセル

あまん きみこ〔作〕
西巻 茅子〔絵〕
2011年／福音館書店

「新しいランドセルを背負った嬉しさと、入学前のワクワクする気持ちが伝わってきます」(司書)



みらいちゃんのママからメッセージ

絵が少ない本でもお話の世界をイメージできるようになって、集中力もついてきたので、絵本より長いお話も楽しめるようになりました。少し長めの話はママと一緒に読みます。



いやいやえん

中川 李枝子〔作〕 大村 百合子〔絵〕
1962年／福音館書店

「大人に反発する年齢の5歳児が共感してお話の世界に入っていきやすいです。1日1章読んで聞かせ、子どもたちは続きを楽しみにしていました」(保育士)



番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー〔作〕 大社 玲子〔絵〕
松岡 享子〔訳〕 1992年／福音館書店

「静かにできないヤカちゃんの言動に、ハラハラドキドキの連続で、一気に読めます。ヤカちゃんのセリフは大げさなくらい大きく読むのがコツです！」(司書)



やまのおばけずかん (おばけずかんシリーズ)

斉藤 洋〔作〕 宮本 えつよし〔絵〕
2013年／講談社

「『ずかん』の名の通り、複数の短いお話で構成されていて読みやすいので、絵本から読み物へ移行する時期にピッタリです」(司書)

みらい館の
催しの紹介



京都御苑 自然観察会 1歳半以上の幼児

京都御苑で、昆虫に触ったり、虫眼鏡を使って植物を観察して、親子で自然に親しみます。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。

興味

しごとば

鈴木 のりたけ〔作・絵〕
2009年／ブロンズ新社
「職業を知る事は、社会を知る事につながります。子どもたちの身近にあるお仕事を知る事から、社会への興味の幅を広げましょう。」(保育士)

シリーズあり



ホネホネたんけんたい

(ホネホネ!?シリーズ)

西澤 真樹子〔監修・解説〕 大西成明〔写真〕
松田 素子〔文〕 2008年／アリス館
ヘビやカメ、ウサギにペンギン、30種類以上の動物のホネが大集合! 「子どもたちから問い合わせの多い人気シリーズです」(司書)



くらべてはっけん! パノラマえほん

寺越 慶司・月本 佳代美・千塚 鉄也・池下 章裕〔絵〕 2017年／世界文化社
「一番速く走る列車はなに? 海の底まで潜れる魚は? 並べて比べて、大迫力の絵が楽しい絵本です」(司書)

数字
時間

わくわく! かずのえほん

PHP研究所〔編〕
蔵澄 咲帆〔絵〕
2015年／PHP研究所
「数字に興味を持つ年長さん。興味を持った時に子どもたちが調べられる環境を作ってあげることが大切です」(保育士)



とけいのえほん いまなんじ

やました はるお〔作〕 むらかみ つとむ〔絵〕
1979年／あかね書房
かえるのけろくんは、とけいおじさんと時計の見方を勉強。楽しく読みながら「時計」を学ぼう!

しゃっくりかい1びょうかん
こどものためのじかんのほん

ヘイゼル ハッチンス〔作〕 ケイティ・マクドナルド・デントン〔絵〕 灰島 かり〔訳〕 2008年／福音館書店
1日、1週間、1ヶ月、1年間。いつものあそびやできごとを通して「時間」をわかりやすく伝える。



あそびば

うえきばちです

川端 誠〔作・絵〕 2007年／BL出版
うえきばちがありました。土を入れて何を植える? 「面白い言葉遊びと、ちょっと不気味な絵が子どもたちに大人気の絵本です」(司書)



なぞなぞはじまるよ
なぞなぞはじまるよ2

おおなり 修司〔なぞなぞ文〕
高島 純〔絵〕
2016年、2018年／絵本館

なぞなぞと絵本の面白さを合体させた、楽しいなぞなぞ絵本!

命・平和

ぼくがラーメンたべてるとき

長谷川 義史〔作・絵〕
2007年／教育画劇
同じ空の下、世界の子は何してる? 「タイトルの面白さと内容の深さのギャップに心を動かされました」(保育士)



おひさまとおつきさまのけんか

せな けいこ〔作・絵〕 2003年／ポプラ社
ある日、けんかをしたおひさまとおつきさま。ふたりの仲はどどんわくなり…。戦争について考える絵本。

いのちの木

ブリッタ・テッケントラップ〔作・絵〕
森山 京〔訳〕 2013年／ポプラ社
「亡くなったキツネとの楽しい思い出が、みんなの悲しさを包み込んでくれます。そしていつまでも、みんなの心の中でキツネは生き続けるのです」(司書)



図書館のおたのしみ会 乳幼児

大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、「親子のための絵本コンサート」など、家族で楽しめるイベントです。

※2019年度の催しのため、内容が変更になる場合があります。



京都市内の保育現場からのメッセージ

こどもみらい館では、保育所・幼稚園、私立・市立・国立の垣根を越えた「共同機構」により、相談・研究・研修・情報発信・子育て支援ネットワークの構築が実施されています。

民間保育園など

ふたりだけの世界

子どもの絵本との出会いには、日常的に愛情をもって接してくれる人の存在があります。絵本は、身近な生活のなかでの子どもの興味・関心がキュッと詰まった宝箱のようなものです。安心できる人の膝や肌のぬくもりを感じながら優しく語られる絵本の中の言霊は子どもの心の中に、綿に水を含ませるかのように浸透していき、子どもを夢中にさせていきます。保育の現場においても絵本の魅力に引き込まれていく子どもたちの姿があります。自分の思いで絵本を手にし、ページを開きます。そして、大好きな大人の気配を近くに感じると絵本にくぎ付けになりながらも保育士の膝に腰を下ろしに戻ってきます。小さなお尻が保育士の膝に引きつけられるかのように後ろ向きのみまで。そして、ふたりだけの絵本の世界が始まります。そうした子どもと絵本とのひとときが人の心を育てるのだと思います。

(公社)京都市保育園連盟

先生たちの
おすすめえほん



シリーズ
あり

いちにちどうぶつ

ふくべ あきひろ〔作〕 かわしま ななえ〔絵〕
2013年／PHP研究所

動物園などでよく見かける動物たちの特性を、主人公の男の子が実際に動物に変身する形で伝えてくれるので、親近感がわいて入っていきやすいです。(保育士)



シリーズ
あり

しろくまちゃんのほっとけき

わかやま けん、もり ひさし、わだ よしおみ〔作〕
1972年／こぐま社

2、3歳児クラスで初めてクッキングをしたときに、いつも楽しんで読んでいるこの絵本といい香りが一致して、子どもたちの表情がかわいかったです。(保育教諭)

市営保育所

絵本の楽しみ方『子どもたちの目線』

保育所で4歳児の子どもたちに「おおかみと七ひきのこやぎ」の絵本を読み終えた時のことです。一人の子が「お父さんは死んだんやな」と言い出し、理由を聞くと「棚や裏表紙にお父さんだけの写真が飾ってある。僕のおばあちゃんは死なはったし、写真が家に飾ってある」とのことでした。絵本の見方として、大人は文字を追ってしまうのですが、子どもは絵をじっくり見ており、文字だけの世界ではなく、自分の生活や経験から色々と想像しイメージするのだと改めて思いました。子どもの目線に立って、絵をじっくり見るようにすると、今まで気が付かなかった発見があります。保護者懇談会では、子どもの目線を感じてもらうために、保護者に絵本を一冊読み聞かせし、文字を追わずに絵をじっくり見てほしいことを伝えるようにしています。

京都市営保育所長会

先生たちの
おすすめえほん



14ひきのシリーズ

いわむら かずお〔作・絵〕
1983～2007年／童心社

細かい絵がかわいく、「ここにこんなのあるよ!」とよく見て集中して楽しめます。登場人物全員に名前があるのも親しみがわくようで、喜んで見えています。(保育士)



いろいろおんせん

ますだ ゆうこ〔作〕 長谷川 義史〔絵〕
2008年／そうえん社

うた(歌詞)がついているので、歌いながら読んでいます。子どもたちは動物が温泉に入って色が変化するところが気に入っています。(保育士)

京都市内の保育現場からのメッセージ

こどもみらい館では、保育所・幼稚園、私立・市立・国立の垣根を越えた「共同機構」により、相談・研究・研修・情報発信・子育て支援ネットワークの構築が実施されています。

私立幼稚園

広がる想像の世界を大切に

今日は、水曜日、図書の部屋に子どもたちが絵本を借りにやってきます。3歳児R君「今日はR君、ダンゴ虫の本を借りよっかなあ」と保育室までの足取りも軽やか♪ところが、暫くして、図書室から「ダンゴ虫～!!」という泣き声が…。一足先に目あての絵本を借りられてしまったのです。「いいよ」と譲っては貰えず、泣き声は大きくなって…。「一緒にダンゴ虫の本を探そう」と担任が声を掛けます。「ねえ、読んで」「いいよ」膝をついて担任が読み始めるとR君はその膝に寄りかかり、一所懸命聴き入ります。読み終わると「R君、これ借りる！」しっかり抱きかかえられた一冊の本。興味のある本を一冊でも知ること、広がる想像の世界を大切にしたい、そんな水曜日の図書室です。

(公社)京都市私立幼稚園協会

国公立幼稚園

絵本が遊びを豊かに

ある日、園庭から保育室に戻ってくると、鞍馬山の犬天狗から手紙が届いています。「一本歯げたを頑張っておるな。でもまだまだ修行が足りん」とその手紙と共にそこには「テングの生活図鑑」「だるまちゃん」とんぐちゃん」の二冊の本が届きました。その本を読んだ後、子どもたちは天狗の葉うちわを作ったり、さらに一本歯げたを頑張ったり、「見守り天狗」になって人を助ける盾と剣を作ったりと遊びが展開されていきます。

絵本は、子どもたちの創造力や想像力を豊かにしてくれる教材なので幼稚園では大切に使っています。

京都市立幼稚園長会

先生たちの おすすめえほん



シリーズ
あり

ぐるぐるジュース

矢野 アケミ〔作・絵〕
2014年／アリス館

果物など子どもの知っているものが出てくるので、会話のキャッチボールが楽しめます。繰り返しながら「ぐるぐる」と混ぜる速さを変えると盛り上がります。(幼稚園教諭)



シリーズ
あり

ぼくのおふろ

鈴木 のりたけ〔作・絵〕
2010年／PHP研究所

子どもが想像を膨らませるように展開されるストーリーや、絵本に隠された迷路や人探しを楽しめるように、細部にまで入っています。(幼稚園教諭)

先生たちの おすすめえほん



おいしいぼうけん

ふるた たるひ、たばた せいいち〔作〕
1974年／童心社

4歳児後半への読み聞かせが多いです。絵のないページもあり、イメージを広げられます。一気に読まず、続きを楽しみに思えるようにしています。(幼稚園教諭)



ヘンテコかいじんシリーズ

宮西 達也〔作・絵〕
2014、2015年／学研プラス

身近なものからあり得ないことが起こるのが面白おかしく、次のページで起こることを想像して楽しめます。年齢問わず喜んで読んでいます。(幼稚園教諭)

特 別 寄 稿

絵本という切符をにぎりしめて

編集者・作家 松田素子

私は子どもの頃に、たったの一冊も絵本を見たことがなかった。そんな私が、いつ絵本という切符をにぎりしめ、絵本編集者の道へ入ったのか。それを話したい。私の育った瀬戸内の小さな町には歩いていける所に本屋も図書館もなかった。私が絵本に気づいたのは21歳。コンプレックスの塊のような大学生だった。

驚いた。こんなものがあつたのか……と思った。人の心の真ん中に何か大切なものを届けにいくのに、こんなにすごい乗り物（表現）があつたなんて……。私は胸の中で呟いた。これを一生読もう！ 密かに決心したところから、様々な出会いがあり、私は絵本を仕事にすることになる。それにしてもあの時、なぜあんなにも強い力で「絵本」をにぎりしめたのか。——それは、私が困っていたからだ。自信のかけらもなかったからこそ、自分に必要なものがはっきりわかったのだと思う。つまり、「絵本」というものには、大人の私にとって、他のものではかえがたいほどの「チカラ」があつたのである。

仕事になってからはさらに、絵本の力と子どもと読者の力を痛感することは幾度もあり、とても書ききれない。そんな中から一つだけ。ある子どもに、一冊の絵本を開いて何気なく「私たちは、キミにこの本の中に入ってきて欲しいんだよね」と言った時のことだ。たまたま開いた吹雪のページにぐっと目をよせたその子はすぐに、「あっ！」と呟き「馬車がある。建物がある」と言った。確かにそれは吹雪の向こうにかすかに描き込まれており、子どもの絵をつかむ力に感心したのだが、もっと驚いたのは、彼の次の行動である。両腕を抱えるようにして、こう言ったのだ「寒い…」と。その時は真夏。とても暑い日だった。嬉しそうにその絵本を胸に抱えて帰る子どもの後ろ姿を見ながら、私は背筋がのびた。大人はこれほどの力で絵本の中に入ることができるだろうか。

——絵本はその力だけでは完結しない。それを読む読者と、その場の力が、それをさらに素晴らしい世界へと変えていくのである。

松田素子 まっだ・もとこ



編集者・作家。1955年山口県生まれ。児童図書出版の偕成社にて「月刊MOE」の創刊メンバーとなり、同誌の編集長を務めた後1989年に退社。その後はフリーランスとして絵本を中心に活動。これまでに約300冊以上の本の誕生にかかわってきた。各地でのワークショップを通して新人作家の育成にもつとめており、長谷川義史、はたこうしろう、ひがしちからなど、多くの絵本作家の誕生にたちあう。また童謡「ぞうさん」で知られる詩人まど・みちおの晩年10年間に関わり、知られざるその画業を紹介する画集も手がけた。自然やサイエンスの分野においても、企画編集および執筆者として活動。毛利衛との共著に『宇宙をみたよ！』があり、自著『ながいながい骨の旅』（講談社）で2019年度の児童福祉文化賞を受賞。

松田素子さんのおすすめえほん

まどさんからの手紙 こどもたちへ

まど・みちお〔文〕 ささめや ゆき〔絵〕
2014年／講談社

詩人まど・みちおさんがこどもたちに書いたこの手紙は、まっすぐに深くこどもの心に届くでしょう。そしてそれはやがて、未来を作る、生きる力になるはずです。



こんなとき こんな絵本



パンダ銭湯

tupera tupera〔作・絵〕 2013年／絵本館
パンダ専用の銭湯があるのを知っていますか。え〜っ、まさか、そうだったのか…。あなたの知らないパンダの世界がここに。

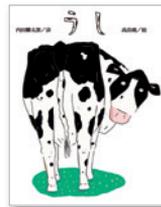


想像もつかない不思議な世界に、子どもたちがどんな反応を示すか、読み手もわくわく。読んだ後、パンダを見る目も変わるかもしれません。(保育士)

※この冊子で紹介した絵本は出版社品切の場合もあります。ぜひ図書館で探してみてください。

うし

内田 麟太郎〔詩〕
高島 純〔絵〕
2017年／アリス館



うしがうしろをふりかえったら、うしがいた。そのうしろのうしがうしろをふりかえると、やっぱりうしがいて…。

ページをめくると、うしがどンドンすごいことに！なんて表情！なんて迫力！繰り返しもオチも子どもにウケます。(司書)

ぶたぶたくんのおかいもの

土方 久功〔作・絵〕
1970年／福音館書店
子ブタのぶたぶたくんは、買い物をつたつたまわりでひとりパン屋さん。八百屋さんでからすのかあこちゃんに、お菓子屋でこまくんに会って、帰りはみんなで帰ります。



一人で買い物という冒険感。友だちの助けで買物成し遂げる。「ぶたぶた…」という繰り返しの早口のお姉さん、ゆっくり喋るおばあさんなど、セリフの変化が面白くて子どもたちは大好き。(保育士)

かえるとカレーライス

長 新太〔作・絵〕 1988年／福音館書店
かえりが住む池のそばに山があった。その山があるときカレーを吐き出して、山全体がなんと巨大なカレーライスに！かえりは大喜びで…。



本当にあったら？と想像すると、なんだかおかしくて、かえるのようにカレーが食べたくなること間違いなしです。(司書)

とびっきりのごちそう

海谷 泰水〔作・絵〕
2007年／長崎出版



ヤギのメアリーは、世話をしてくれるカウボーイに恩返ししようとごちそう探しの旅に出た。様々な動物たちと出会い成長し、最後にたどりついたのは意外な場所…。

自分の乳でリンゴを落とすヤギ。無表情なハチ。謎の関西弁。衝撃のオチ。シュールで面白い絵と話に親子で爆笑してください。(司書)

うふふっくすくすっ ユーモラス絵本

顔を見合わせて笑っちゃっ、
楽しさにあふれた絵本をご紹介します。



なんでやねん

中川 ひろたか〔文〕 鈴木 翼〔原案〕 あおき ひろえ〔絵〕
2013年／世界文化社

朝起きたらちゃんまげが生えていたり、パジャマを脱いだらふんどししてたり…。思わず「なんでやねん!!」と突っ込みたくなる、爆笑必至の絵本。

おはなし会で読むといつも子どもたちが笑ってくれます。テンポよく、緩急をつけて読むのがポイントです。(ボランティア)



シリーズあり



いちばんどり いちぬけた

日隈 みさき〔作・絵〕
2019年／あかね書房

朝を知らせるいちばんどりの一族が、ある日鳴くのをやめちゃった。いちばんどりが一列でどんでん進んでいく一日を、「いち」づくして楽しむ絵本。

じっくり眺めていると色々と新しい発見があって、どンドン味わい深くなります。お気に入りのわとりを見つけてみては？(司書)

おまかせコックさん

竹下 文子〔作〕
鈴木 まるも〔絵〕
2007年／金の星社



ぼくたち元気なコックさん。りんごをむいて、きゅうりを切ってたまごはゆでて…。さあ、みんななら何を作る？

こびとたちが料理を作る様子がとても楽しそう。料理の楽しさと食べてもらう喜びが感じられる一冊。(司書)



あっちゃんあがつく たべものあいうえお

さいとうしのぶ〔作・絵〕 みね よう〔原案〕
2001年／リーブル

「あっちゃん あがつく あいすくりーむ いっちゃん いがつく いちごじゃむ」…。歌って楽しい歌におもしろな絵！

美味しそうで大人も楽しめる絵本なので、読み聞かせが苦手な親御さんにもお薦め。大人が楽しんで読むことが、子どもにとって何より大事です。(保育士)



ぱくぱくもぐもぐ… おいしい絵本

食べるの大好き！
思わず食べたくなっちゃう
おいしそうな絵本がいっぱい！



きょうのごはん

加藤 休ミ〔作・絵〕
2012年／偕成社

夕方になると、どの家からもいいにおいがしてくるよ。どれもみーんなおいしそう！

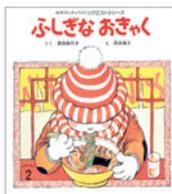


ページいっぱいに登場するごはんは迫力満点！湯気がたち、匂いさえてきそうなリアルな絵に、お腹が空くこと間違いないし！(司書)

ふしぎなおきゃく

肥田 美代子〔作〕
岡本 颯子〔絵〕
2006年
ひさかたチャイルド

評判のラーメン屋とんちんけん。ひとくちだけ食べて帰ってしまう不思議なお客の正体は?! ラーメン好き必見。



寒い冬に食べる熱々のラーメンがとても美味しそう！不思議なお客の正体には子どもたちもびっくり&にっこり顔で楽しんでくれます。(司書)



ふゆってどんどこころなの？

工藤 ノリコ〔作・絵〕 2012年／学研プラス
冬の間ずっと眠って春を待つクマの3兄弟。途中で起き出した兄弟たちが初めて見る冬は、とっても楽しくておいしいところでした！

アイスクリームの雪だるまや、わたあめの木、ココアの温泉…子どもたちの大好きなスイーツがいっぱい！夢いっぱい！(司書)

人気のたべもの絵本シリーズ



パンどうぞ

(おいしい木版画えほんシリーズ)

彦坂 有紀、もりと いずみ〔作〕
2014年／講談社

木版画のパンが本物以上にパンらしく、おいしそうな絵本。



めしあがれ

(めしあがれシリーズ)

視覚デザイン研究所〔作〕
高原 美和〔絵〕
2012年／視覚デザイン研究所
丁寧に描き込まれた絵がリアルで美しいシリーズ。



ポコポコドーナツ

(ポコポコおやつえほんシリーズ)

さかい さちえ〔作・絵〕
2013年／教育画劇
小さいポコポコとありさんが、おやつの世界で大活躍！かわいい絵が人気の絵本。



ぎょうれつのできるすうぷやさん

(ぎょうれつのできるおいしいえほんシリーズ)

ふくざわ ゆみこ〔作・絵〕
2009年／教育画劇
温かみのある色合いと絵柄からは、美味しそうな匂いが漂ってくるよう。人気のおみせやさんシリーズ。



チリとチリリ あめのひのおはなし (チリとチリリシリーズ)

どい かや〔作・絵〕 2019年／アリス館
くもり空の下、チリとチリリが自転車で出かけると、雨がふってきた。ふたりは、雨の日だけ開いているお店を見つけて…。

かわいい絵と夢に溢れたお話が人気の絵本です。シリーズを通して美味しそうで不思議な食べ物が出てくるのも楽しみです。(司書)



もぐてんさん

やぎ たみこ〔作・絵〕 2008年／岩崎書店
ある日、がんちゃん一家は謎の生物、もぐてんさんと出会います。もぐてんさんの力で小さくなると、庭は素敵な遊び場になりがわり。

お花を帽子にしたり、怪物のように大きくなった猫に驚いたり——。日常の風景が特別なものになる楽しさにワクワクする絵本です。(司書)



ふしぎなおるすばん

齊藤 栄美〔作〕
岡本 順〔絵〕
1991年／ポプラ社

一人でおるすばん、しりとりにあそぼう…りんご！すると、あれれ、りんごがとびだしてきた。きょうは、ふしぎなおるすばん。

しりとりの言葉が本物になって現れ、お家が動物でいっぱいになるのが面白いです。最後に現れた「お」がつくものはなんでしょう？(司書)

めっきらもっきらどおんどん

長谷川 摂子〔作〕
ふりや なな〔絵〕
1985年／福音館書店

お宮で木の根っこに落ちたかんたは、へんてこな世界へ。住人となかよく遊んだけれど、夜、心細くなって…。

不思議な世界に読み手も子どもたちもぐっと引き込まれてしまいます。呪文を唱えるところで子どもたちと声を合わせて楽しんでます。(保育士)



かようびのよる

デヴィッド・ウィズナー〔作・絵〕
当麻 ゆか〔訳〕
2000年／徳間書店

ある火曜日の夜、蓮の葉に乗ってたくさんのカエルたちが飛び始め…。夜明けまでの出来事をリアルな描写で描く。

静かで不気味な夜。鳥が騒ぎ、犬が吠えても人間は気づかない…。真夜中にはこんな事が起きているかも…？と想像してしまいます。(司書)

ドキドキわくわく… ファンタジー絵本

「このあと、どうなるんだろう…」と
絵本の世界に入り込んじゃう
おもしろさ。



クリスマスのふしぎなはこ

長谷川 摂子〔作〕 齊藤 俊行〔絵〕
2008年／福音館書店

クリスマスの朝見つけた箱を開けると、サンタさんの姿が見えた。箱の中を見る度にサンタさんは僕の家近づいてくる…。



クリスマス時期のおはなし会で大人気。ページをめくるたびに子どもたちの目が輝く、夢がいっぱいつまった絵本です。(司書)

あったかいお家族の絵本

泣いて笑って怒って…
 どんときも一緒。大好きな
 家族とともに読みたい絵本。

おかあさん

おはなをどうぞ

三浦 太郎〔作・絵〕
 2009年／のら書店

お母さんにあげようと
 お花をたくさん摘んだ
 メルシーちゃん。帰り道、動物たちに出会い、
 お花を少しずつおすそわけして…。

お花を全部あげてしまって落ち込んでいるメルシーちゃんを、お母さんがぎゅっと抱きしめながら言ってくれた言葉が素敵です。(司書)



今日

下田 昌克〔絵〕 伊藤 比呂美〔訳〕
 2013年／福音館書店

「今日、わたしはお皿を洗わなかった」——子どもの世話に大わらわで、余裕をなくしているお母さんたちにやさしく寄りそい、エールを送る詩。

ちゃんとできていないと自分を責めてしまいがちですが、お母さんは大切なことをたくさんしています。子どもがいるからこそ今日を、そして頑張っている自分をかけがえのないものだと感じてほしいです。(幼稚園教諭)



おこだでませんように

くすのき しげのり〔作〕 石井 聖岳〔絵〕
 2008年／小学館

「ぼくは、いつでもおこられる。家でも学校でも…」いつも誤解されて損ばかりしている少年が、七夕さまの短冊に書いた願いごとは…?

おはなし会で子どもたちに読んでいるが、いつもお母さんたちがとても真剣に聞いてくれます。時には泣いている方も…。(ボランティア)

どれがぼくかわかる?

カーラ・カスキン〔作・絵〕
 与田 静〔訳〕
 1970年／偕成社

お母さんは、たくさんの動物にまぎれて遊ぶぼくを見つけてくれるかな? お母さんの愛を確かめたい、幼児の心理を描く。



探し絵のような楽しい絵本です。お母さんがぼくを見つけられるのは、子どもをよく見て理解しているからこそ。親子の絆を感じる絵本です。(司書)

おとうさん



シリーズあり

じごくのそうべえ

たじま ゆきひこ〔作・絵〕 1978年／童心社
 軽業師のそうべえは綱わりに失敗して落下し…気がつくど地獄へ。そこで出会った仲間とゆかいに地獄めぐり。はたして彼らの運命は…。

迫力のある地獄の登場人物のセリフは、お父さんの声で読むのにぴったりです。父子で声をあげて笑いながらお話を楽しんでください。(司書)



ゴリラのおとうちゃん

三浦 太郎〔作・絵〕 2015年／こぐま社
 木陰でくつろぐゴリラ父子の楽しい身体遊び。ほのぼのした関西弁で読んで楽しい、遊んでうれしい、親子のスキンシップが深まる絵本。

大胆な動きは体力と腕力があるお父さんならではの。子どもが喜ぶ動きが詰まっているので、年齢に合わせて無理なく絵本の真似をしてください。(保育士)

かばさん

やべ みつりのり〔作・絵〕 2001年／こぐま社
 みつこはお父さんと動物園へ行き、かばの親子に夢中になる。家に帰ってから、お父さん相手に「かばごっこ」をして…。

優しく、大きなお父さんと過ごす一日の様子が、丁寧に描かれていて微笑ましいです。きっと、温かい思い出として生き続けるんだらうなとほっこりします。(司書)



あたしのすきなもの、ななんだ?

バーナード・ウェーバー〔作〕 スージー・リー〔絵〕
 松川 真弓〔訳〕 2017年／評論社

「あたしのすきなもの、ななんだ?」と女の子がきくと、パパは「すきなものはなに?」と何度でもきいてくれます。美しい景色の中を散歩する二人のやりとりが心はずむ絵本。

言いたいことも聞いてほしいことも全部言葉にして、パパと娘の会話でストーリーは進みます。父子の愛情に包まれた幸せな時間が流れます。(司書)

兄弟

おじまなクマのおいだしかた

エリック・パインダー〔作〕
ステファニー・グラエギン〔絵〕
三辺 律子〔訳〕
2016年／岩崎書店

ある寒い日、トーマスはクッションや毛布で家の中に「ほらあな」を作った。その「ほらあな」にクマが入り込み…。



ブルーベリーやハチミツでおびき出そうとするけど、すぐに戻ってくる。トーマスと一緒に遊びたがっているクマはだあれ？(司書)

姉妹

ねえたんが すきなのに

かさい まり〔作〕 鈴木 まる〔絵〕
2012年／佼成出版社

ゆうゆは、ねえたんが大好き。いつもべったりくっついて、なんでも同じことをしたいのです。でも、ある日、ねえたんが一人で出かけてしまい…。



お姉ちゃんにとっては煩わしいマネっこ妹。でも邪魔にされても怒られても、妹はお姉ちゃんが大好きなんです。(司書)

おじいちゃん

おじいちゃんちで おとまり

なかがわ ちひろ〔作・絵〕
2006年／ポプラ社

ぼくははじめておじいちゃんの家へおとまりへいくことに。おじいちゃんと孫が空想の世界で遊ぶ、楽しいファンタジー。



最初は緊張していたぼくも、おじいちゃんの冒険談に夢中！ どんどん縮まる二人の距離が微笑ましいです。(司書)

おばあちゃん

おばあちゃん すごい！

中川 ひろたか〔作〕
村上 康成〔絵〕
2002年／童心社

園にやってきたおばあちゃん、子どもたちと遊び始めた。けん玉、お手玉、何でも上手！ すごい！



シリーズあり

昔遊びが得意で物知りなおばあちゃんの正体とは？ そしておばあちゃんが探してる「ひろたかなり」って誰のこと？ おばあちゃんと子どもたちの交流にほのぼのします。(司書)

家族みんな優しい気持ちになれる絵本

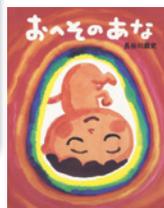


おへそのあな

長谷川 義史〔作・絵〕 2006年／BL出版

お母さんのお腹の中で赤ちゃんは、おへその穴から家族みんなを見ているよ。お兄ちゃん、お姉ちゃん、お父さん…。命の誕生を楽しく描いた絵本。

母親のおなかにいる赤ちゃんから見た生活を描いていて、親も子どももどこかに共感できるあたたかい気持ちになれる絵本です。(保育士)



りんごがひとつ

ふくだ すぐる〔作・絵〕
1996年／岩崎書店

りんごが落ちていた。ヒョイと持っていくと、それを追いかける他の動物。りんごを手にするのは誰？ 思わずホロッとする結末。

どんでん返しありのハラハラドキドキする展開が楽しい。でも、おさが逃げたのには理由があり…。最後は動物たちの優しさに感動します。(司書)



かえりみち

あまん きみこ〔作〕 西巻 茅子〔絵〕
1979年／童心社

野原のまん中でまいごになった女の子が、小さな動物たちと心をかよわせるふしぎで、楽しいメルヘン。

困っていると必ず誰かが助けしてくれる。そんな優しさがどんどん繋がっていく温かいお話。眠る前にみんなの事を思い出すシーンでとても幸せな余韻が広がります。(司書)





かみさまからの おくりもの

ひぐち みちこ〔作・絵〕 1984年／こぐま社
神様からの贈り物、「個性」。子は自分が受け取ったものに気づき、親は子を授かった感謝の気持ちに立ち返る。



保護者の方にはこんな個性の見つけ方をあげてほしいです。マイナス点じゃなく、いい所を見つけてあげて。当たり前にも思えることもその子の素晴らしい個性です。(保育士)

やっぱりおおかみ

佐々木 マキ〔作・絵〕
1973年／福音館書店
ひとりぼっちのおおかみは、仲間を求め、ふたの町、うさぎの町をさまよって歩くが、どこへ行っても仲間はいない…。
自分に似た子はいなくても、自分は自分のままでいいんだ—。孤独だったおおかみは、最後に清々しい希望に気づきます。初めて出会う“孤独”の絵本。(司書)



ぼちぼちいこか

マイク・セイラー〔作〕
ロバート・グロスマン〔絵〕
今江 祥智〔訳〕
1980年／偕成社

重量級のカバくんは、船乗り、飛行士、ピアニストと、次々に新しい仕事に挑戦。おかしな結末をユーモラスな絵で語る。

失敗してもいいし、ゆっくりでいい。選択肢はひとつじゃない。大人になって忙しい毎日の中で、行き詰まった時に思い出してもらえたらと思える絵本です。(保育士)

みんなが主役だ 個性の絵本

みんな、一人ひとり
違うからおもしろい。
それぞれに輝く
個性を応援!



まめまめくん

デヴィッド・カリ〔作〕
セバスチャン・ムーラン〔絵〕
ふしみ みさを〔訳〕
2016年／あすなろ書房

お人形のくつをはき、マッチ箱で眠るまめまめくんは、小さいけれど何でもできた。そう、小学校へ行くまでは…。
小さすぎることでうまくいかないことの連続。大人になって見つけた、まめまめくんにぴったりの仕事とは?(司書)



かんぺきな子ども

ミカエル・エスコフィエ〔作〕
マチュー・モデ〔絵〕
石津 ちひろ〔訳〕
2019年／ポプラ社

マカロン夫妻の家に、ピエールという子どもがやってきた。かわいくて、かしいピエールは、完璧な子に見えたけど…。

お行儀が良くなくても言う事を聞く「かんぺきな子ども」。親は大喜びでも、そこには全く「その子らしさ」がない事に気づきます。(司書)



みえるとか みえないとか

ヨシタケ シンスケ〔作〕
伊藤 亜紗〔相談〕
2018年／アリス館

宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、目が3つある人の星。ぼくは「後ろが見えないなんてかわいそう」とか言われて…。

自分と同じところを見つけて人と仲良くなることは簡単かもしれませんが、人はみんな違って当たり前。多様性を楽しむことの大切さがユニークに描かれています。(臨床心理士)



さっちゃんのおまほう

たばた せいいち
先天性四肢障害児父母の会の
のべ あきこ、しざわ さよこ〔共同制作〕
1985年／偕成社

先天性四肢欠損という障がいがあるさっちゃんは、傷つきながらも現実をうけ入れ、力強く歩き始める。

さっちゃんの不安や悲しみに対してお母さんが障がいをごまかさず、ちゃんと向き合う様子が描かれています。違いを認め合う事の大切さを教えてくれる絵本です。(保育士)

絵を見ている
だけで楽しい



シリーズ
あり

コンガらがっち どっちにすすむ? の本

ユーフラテス〔作・絵〕
2009年／小学館

コンガらがっちが、どんどん
進んでいくと——好きな道
をえらんで一緒にゴールをめ
ごそう!



シリーズ
あり

100かいだてのいえ

いわいとしお〔作・絵〕
2008年／偕成社

100階だての家の最上階にすむ
だけかから手紙をもらったトチく
ん。いろいろな動物がすむ100
階だての家の探検スタート!



シリーズ
あり

きょうのおやつは

わたなべちなつ〔作・絵〕
2014年／福音館書店

鏡のように反射する紙に
両側のページが映り
こんで絵が三次元的
に! 臨場感あふれるお
やつづくりを楽しんで。



あ!と驚くしかけ絵本

おおかみだあ!

セドリック・ラマディエ〔作〕
ヴァンサン・ブルジョア〔絵〕
谷川 俊太郎〔訳〕
2014年／ポプラ社

ページをめくればめくる
ほどおおかみが近づいて
くる!! 絵本をかたむけたり、ふったり、絵
本の世界を動かそう!



みんな、よっといで! 絵本とあそぼ!

おはなしだけじゃない!
楽しく遊べる絵本もいっぱい!



バナナおいしくな-れ

矢野 アケミ〔作・絵〕
2018年／大日本図書

バナナがおいしくなる「おまじ
ない」を唱えると…あれ、あれ
れ!? あてっこあそびと、食
物が一緒に楽しめる一冊。

声に出してみよう
いっせーので!



ケーキになあれ!

ふじもと のりこ〔作・絵〕
2014年／BL出版

くだものに魔法をかけると、おいしい
ケーキに変身! 次はどんなケーキが
現れるのか、みんなわくわく!

一緒に考えよう!
クイズ絵本

どうぶついろいろかくれんぼ

いしかわ こうじ〔作・絵〕
2006年／ポプラ社

なにがかくれているのかな? かたぬ
きページをめくると、かくれていた動
物が次々と現れるしかけ絵本。



シリーズ
あり

おかしだ-れ?

よねづ ゆうすけ〔作・絵〕
2013年／講談社

おかしにかくれんぼしてるのは、だ
れ? あてっ
こ遊びが楽
しい、世界中
で読まれるユ
ニークなしか
け絵本。



シリーズ
あり

おしくら・まんじゅう

かがくい ひろし〔作・絵〕
2009年／プロンズ新社

いたずら紅白まんじゅ
うが、こんやく、なっ
とう、ゆうれいとおしく
らまんじゅう!! おされたみんなはどうなるの!?



体を使って
まねっこしよう!



ぺんぎんたいそう

齋藤 模〔作・絵〕
2016年／福音館書店

動物園や水族館でおなじみ
のペンギン。そのユニークな
動きは、まるで体操。思わず
身体が動いてしまう絵本。

こどもみらい館スタッフ おすすめ本16冊



※この冊子で紹介した絵本は出版社品切の場合もあります。ぜひ図書館で探してみてください。

こどもみらい館には、保育士、幼稚園教諭、臨床心理士、図書館司書などさまざまな職種の職員が働いており、たくさんの子育て支援ボランティアの方々にもご協力いただいています。日々、子どもたちと接するスタッフから、とおきのおすすめ本を紹介します。



どうぞのいす

香山 美子〔作〕 柿本 幸造〔絵〕
1981年／ひさかたチャイルド

柿本幸造さんの温かく優しい絵が大好きで、ずっと憧れている大先輩です。動物たちがみなで助け合うところと、うさぎの優しさに胸がじんときします。(こどもみらい館館長・永田萌)



「歌と絵」が大好きな子たちから人気です。

うたえほん

つちだ よしはる〔絵〕
1988年／グランマ社

子どもたちと童謡を何回も歌って楽しみました。童謡は歌いやすいものばかりで、自分で歌うのも、保育士やお母さんが歌うのを聞くのも楽しいようです。(保育士)



くらいくらい

はせがわ せつこ〔作〕 やぎゅう げんいちろう〔絵〕
2006年／福音館書店

子どもは電気のスイッチが大好き！暗い部屋がバツと明るくなる様子と、誰かが出てくるワクワクが楽しいです。言葉のリズムも、独特な絵もおもしろいです。(司書)



「Animal Kingdom」が大好きな子たちから人気です。

どうぶつしんちょうそくてい

聞かせ屋。けいたろう〔作〕 高島 純〔絵〕
2014年／アリス館

動物の身長測定の様子を描いた絵本。動物たちも背の高さを気にするのか、それぞれちょっぴりズルをする。その仕方がユニークで笑ってしまいます。(ボランティア)



だめだめすいか

白土 あつこ〔作・絵〕
2007年／ひさかたチャイルド

すいかを届けようと一生懸命なつくん。それを邪魔しようとするどこか憎めないたぬき。そんなふたりのやり取りを最後まで見届けたくなるお話です。(司書)



おしっこちょっぴりもれたらう

ヨシタケ シンスケ〔作・絵〕
2018年／PHP研究所

自分だけが悩んでいると思っているけど、実はみんなそれぞれ困ったことを抱えて生きている。大丈夫、それでいいんだよと教えてくれる絵本です。(臨床心理士)



もりのおくのおちやかいへ

みやこし あきこ〔作・絵〕
2010年／偕成社

おばあちゃんちにひとりでおつかいに行くことになったキッコちゃん。途中、森のなかで出会ったのは…。白黒の絵にときおりはいる赤と黄色が印象的です。(司書)



しんせつなともだち

方 鞆鞆〔作〕 村山 知義〔絵〕
君鳥 久子〔訳〕 1965年／福音館書店

冬の寒さと、友だちを想う動物たちの温かい気持ちの対比が良いです。文字が少ないので、絵をゆっくり見て想像して楽しめます。(幼稚園教諭)



わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ〔作・絵〕
与田 準一〔訳〕 1968年／福音館書店

じっとしていたら集まってきてくれた友だちと、とびきり嬉しい時間を過ごした女の子。最後の女の子の表情と言葉に、幸せな気持ちで胸がいっぱいになります。(司書)



うんちっち

ステファニー・ブレイク〔作・絵〕
ふしみ みさを〔訳〕 2011年／あすなろ書房

「ああ、ぼくのだいじなうんちっち！」たくましいババとぼくの合言葉。「ババだいすぎ！」そんな子どもの声が聞こえてくる最高に面白い絵本です。(事務職員)



ぼくのたからものどこですか

角野 栄子〔作〕 垂石 眞子〔絵〕
1988年／福音館書店

一人で留守番をするノブ君が、お母さんの隠した宝物を探す様子がとても楽しそう。子どもの頃この絵本を読んで、一人での留守番が楽しみになりました。(司書)



あなたがとってもかわいい

みやに したつや〔作・絵〕
2008年／金の星社

下の子が生まれた時に、上の子と一緒に読んでほしい絵本です。あなたも小さい時はこうだったんだよ、と伝えられたらいいですね。(保育士)

だしててもあつて
だしててもあつて
だしててもあつて



永田 萌画集

野原のオルゴール 妖精たちの12の月

永田 萌〔作・絵〕 1984年／世界文化社

妖精たちが織りなす四季折々のメルヘンな世界。読み終わるころには、子どもたちもきっと安らかな眠りについちゃいそうですね。(図書館職員)

絵にも音楽にも
優しい心が溢れて
います



こんとあき

林 明子〔作・絵〕
1989年／福音館書店

ピンチの時も「だいじょうぶ だいじょうぶ」とあきちゃんをそばで励ますこんちゃんの優しさに心が温かくなります。(司書)



うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん

ディック・ブルーナ〔作・絵〕
松岡 享子〔訳〕 2008年／福音館書店

静かに淡々とうさこちゃんとおばあちゃんの別れが描かれていて、心に収まります。身近な人の死を子どもが理解するための助けとなる一冊です。(臨床心理士)



子どもはみんな問題児。

中川 李枝子〔著〕
2015年／新潮社

子育てに行き詰った時に読むと、「みんな同じことで悩んでる、細かいところは気にしないでいいんだな」と気が楽になります。保護者の方々にも好評です。(保育士)

思い詰めている
親の心がホッと
する本です



みんな集まれ「絵本の森」へ!

子育て図書館は、こどもみらい館の3階にあり、乳幼児(未就学児)向けの絵本をはじめ、子育てに役立つ本や幼児教育・保育の専門書、CD・DVDなどを所蔵しています。また、子どもたちと絵本とのふれあいのための様々な取り組みも実施していますので、ここで紹介します。元気な子どもたちや子育て中のみなさんと本をつなぐナビゲーターの図書館司書と、子育て支援ボランティアさんが、みなさんのご来館をお待ちしております。



おはなし会

182回

11:10～、14:20～(各30分程度)

乳幼児と保護者対象

図書館内のはだしのコーナーで、読み聞かせボランティアさんが絵本や紙芝居の読み聞かせを行います。内容は毎回変わり、いろいろな絵本に出会うことができます。お気に入りの絵本を見つけにきてください。

集合!

子育て図書館で人気のキャラクターたち!



①



①はらぺこあおむし

エリック・カール〔作・絵〕 もり ひさし〔訳〕
1976年/偕成社

②バムとケロのにちょうび

島田 ゆか〔作・絵〕 1994年/文溪堂

③からすのパンやさん

かこ さとし〔作・絵〕 1973年/偕成社

④



④ぐりとぐら

中川 李枝子〔作〕
大村 百合子〔絵〕
1967年/福音館書店

⑤ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを〔作〕 上野 紀子〔絵〕
1974年/ポプラ社

⑥おばけのバーバパパ

アネット・チゾン、タラス・テイラー〔作〕
山下 明夫〔訳〕
1972年/偕成社

⑦どんぐりむらのぼうしやさん

なかや みわ〔作・絵〕
2010年/学研プラス

⑧わんぱくだんのかくれんぼ

ゆきの ゆみこ、上野 与志〔作〕
末崎 茂樹〔絵〕
1990年/ひさかたチャイルド

②



③



⑤



⑥



⑦



⑧



※2020年2月現在の催しです。変更となる場合がありますので、ホームページ等で開催日時をご確認ください。

赤ちゃん絵本のふれあい会

第3金曜(12月を除く毎月)
10:30~(45分程度)
4カ月~1歳未満の乳児と保護者対象

輪になってふれあい遊びをしたりわらべうたを歌ったりします。パネルシアターなど毎回異なる催しがあり、赤ちゃん絵本の選び方や読むときのポイントなどお話しします。
お母さん同士のふれあいもあり、たくさんの絵本を実際に手に取って見ることもできます。



おたのしみ会

第4日曜(12月を除く毎月)
14:20~(30分程度)
乳幼児と保護者対象

大型絵本の読み聞かせなどの様々な出し物や、楽器の演奏とともに絵本の朗読をする「親子のための絵本コンサート」もしています。
毎月異なる内容で、ご家族で楽しむことができます。お気軽にお越しください。

小学校へ入学したら...

子育て図書館にはない本などの予約・取り寄せができます。
図書館カードは、京都市図書館各館で共通に使用できますので、お近くの図書館もご利用ください。
詳しくは、京都市図書館のホームページをご覧ください。



こどもみらい館
開館20周年記念

手作り絵本コンクール

全国から92作品もの応募をいただきました。その中から、上位5作品をご紹介します。



市長賞
おにのにいちゃん
宝光井 あいり
(右京区)



こどもみらい館館長賞
うすいもののぼうけん
花岡 要
(山口県下松市)



(公社)京都市私立幼稚園協会賞
ちょうちょのストロー
橋本 佳奈
(伏見区)



(公社)京都市保育園連盟賞
さとっこさんぼみち
京都市弓削保育所
(右京区)



京都洛翠ライオンズクラブ賞
ぎおんまつり
京都市立中京もえぎ幼稚園
(中京区)

タイトルさくいん

あ行

あ・あ 10
あかちゃんたいそう 10
あかちゃんとお母さんのあそびうた【CD】 9
あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん 9
あさがお 19
あたしのすきなもの、ななんだ? 28
あっちゃんあがつく 26
あっぶっぶ 11
あなたがだいすき 6
あなたがとってもかわいい 33
いちにちどうぶつ 22
いちにのさんぽ 13
1ねん1くみの1にち 20
いちばんあいされてるのはぼく 7
いちばんどり いちぬけた 25
いっしょならもっという 16
いないいないばあ 8
いのちの木 21
いやいやえん 20
いやだいやだ 14
いやっ! 14
いろいろおんせん 22
いろいろ ばあ 11
うえきばちです 21
うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん 33
うし 25
うたえほん 32
うんちっち 33
おいしいよ 12
おおかみだあ! 31
おおかみと七ひきのこやぎ 19
おおきくなるっていうことは 20
おおきなかぶ 15
おかし だーれ? 31
おこだでませんように 28
おこりんぼママ 7
おじいちゃんちで おとまり 29
おいしいれのぼうけん 23
おしくら・まんじゅう 31
おしっこちょっぴりもれたろう 32
おじゃまなクマのおいだしめた 29
おせんべ やけたかな 8
おつきさまこんばんは 11
おててがでたよ 12
おててはびかびか 15
おねしょ ちゃんとなおったね 17
おばあちゃん すごい! 29

おはなをどうぞ 28
おひさまとおつきさまのけんか 21
おへそのあな 29
おべんとう 12
おまかせコックさん 26
おやすみなさいネムネムちゃん 13
おやすみ、ぼく 13

か行

かえりみち 29
かえるとカレーライス 25
かぞえておぼえる かずのえほん 19
がたん ごん がたん ごん 10
かばさん 28
かみさまからのおくりもの 30
かようびのよる 27
がんばれ はぶらしハーマン 16
かんべきな子ども 30
きいろいのはちようちよ 13
きゅっ きゅっ きゅっ 12
今日 28
きょうのおやつは 31
きょうのごはん 26
きょうれつのできるすうぶやさん 26
きんぎょが にげた 13
くだもの 11
くつくつあるけ 13
くらい くらい 32
くらべてはっけん! パノラマえほん 21
クリスマスのふしぎなはこ 27
ぐるぐるジュース 23
ぐるんぱのようちえん 18
くれよんのくろくん 18
ケーキになあれ! 31
けんかのきもち 19
ごあいさつあそび 13
ごちよぼ ごちよぼ 11
コッコさんのともだち 16
子どもはみんな問題児。 33
このあいだに なにがあった? 19
ごぶごぶ ごぼごぼ 11
ゴリラのおとうちゃん 28
ころころころ 13
コングラガッチどっちにすすむ? の本 31
こんとあき 33

さ行

さっちゃんのまほうのて 30
3~6歳の これで安心 子育てハッピーアドバ
イス 7

三びきのやぎのがらがらどん 17
さんまいのおふだ 19
じごくのそうべえ 28
しごとば 21
じぶんで じぶんで 12
じゃあじゃあびりびり 10
しゃっくり1かい1びょうかん 21
11びきのねこ ふくろのなか 17
14ひきのシリーズ 22
しりとりのだいすきなおうさま 18
しろくまちゃんのほっとけーき 22
しんせつなともだち 33
すいかのたね 17
すきすき はみがき 16
0・1・2歳児のココロを読みとく 保育のまな
ざし 7
0~3歳の これで安心 子育てハッピーアドバ
イス 7
ぞうくんのさんぽ 15
ぞうちゃんの いやいや 14
そら はだかんぼ! 17
そらまめくんのベッド 19

た行

だいじょうぶ だいじょうぶ 7
だっこ だっこ だーいすき 6
だめだめすいか 32
だるまさんが 11
だれがトイレでうんちをするの? 17
たんぼぼ 19
ちびゴリラのちびちび 6
ちょっとだけ 7
チリとチリリ あめのひのおはなし 27
つのはなんにもならないか 15
できるかな? あたまからつまさきまで 15
どうすればいいのかな? 12
どうぞのいす 32
どうぶついろいろかくれんぼ 31
どうぶつしんちょうそくてい 32
とけいのえほん いま なんじ 21
とつとつとつと 13
ととけこうよがあげた 8
とびっきりのごちそう 25
どれがぼくわかる? 28
どんどこ ももんちゃん 6

な行

なぞなぞのみせ 18
なぞなぞはじまるよ 21
なぞなぞはじまるよ 2 21

なにをたべたかわかる? …… 3
 なんでやねん …… 25
 にんじん だいこん ごぼう …… 15
 ねえたんが すきなのに …… 29
 ねーずみ ねーずみ どーこ いや? …… 8
 ねないこだれだ …… 13
 野原のオルゴール 妖精たちの12の月 …… 33
 ノンタンおしっこしーしー …… 14
 ノンタンぶらんこのせて …… 16

は行

はいちーず …… 15
 はけたよ はけたよ …… 17
 はじまりは愛着から …… 7
 はじめての あいうえおえほん …… 19
 バナナおいしくなーれ …… 31
 はみがきごっこ …… 16
 はみがきれっしゃ しゅっぱつしんこう! …… 16
 パンダ銭湯 …… 25
 ばんつさいごう! …… 17
 パンツのはきかた …… 12
 パンどうぞ …… 26
 番ねずみのヤカちゃん …… 20
 100かいだてのいえ …… 31
 びよーん …… 10
 ぶう ぶう ぶう …… 10
 ぶくちゃんのすてきなばんつ …… 14
 ふしぎなおきやく …… 26
 ふしぎなおるすばん …… 27
 ぶたぶたくんのおかいもの …… 25
 ぶゆってどんなどころなの? …… 26
 ぶるんぶるんおかお …… 15
 ぶれあいたっぷり! 赤ちゃんのわらべうたあそび …… 9
 へっこ ぶっと たれた …… 8
 ペんぎんたいそう …… 31
 へんしんトンネル …… 18
 ヘンテコかいじんシリーズ …… 23
 ぼくがいちばん! すごいでしょ …… 18
 ぼくがラーメンたべるとき …… 21
 ぼくのおふろ …… 23
 ぼくのたからものどこですか …… 33
 ポコポコドーナツ …… 26
 ぼちぼちいこか …… 30
 ホネホネたんけんたい …… 21
 ぼんちんばん …… 11

ま行

まださんからの手紙 こどもたちへ …… 24
 まめめくん …… 30

まんまるねんね …… 11
 みえるとか みえないとか …… 30
 みてよびかぴかランドセル …… 20
 むにやむにや きゃっきゃ …… 10
 めしあがれ …… 26
 めっきらもっきらどおんどん …… 27
 もう ぬげない …… 17
 もぐてんさん …… 27
 もこもこもこ …… 13
 ももたろう …… 19
 もりのおくのおちゃかいへ …… 32

や行

やさいのおなか …… 12
 やっぱりおおかみ …… 30
 やまのおぼけずかん …… 20
 ゆくくとすく トイレでちっち …… 14
 ゆりかごのうた …… 11
 よもぎのはらのおともだち …… 19

ら行

りんごがひとつ …… 29

わ行

わくわく! かずのえほん …… 21
 わたしとあそんで …… 33
 わにわにのおふろ …… 15

この冊子を編集した 京都新聞出版センター おすすめ絵本



けむしのおなら

まつむらまさき〔作〕 むらかみ ゆきこ〔絵〕
 2017年/京都新聞出版センター

カバにライオン、そしてけむし…なかなか聞けない動物のおならを愛らしいイラストとともに紹介します。



やさいのおなか くだものおなか

まつなが しゅんじ〔作・絵〕
 2018年/京都新聞出版センター

だいこん、とまと…ほぼ実物大の断面を描いた水彩画が美しい。カエルや蝶なども描かれ、優しい気持ちになります。

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館 開館20周年記念冊子 絵本の森からの贈りもの

発行日 …… 令和2年2月

発行 ……

京都市子育て支援総合センター
 こどもみらい館

制作 …… 子育て図書館

〒604-0883

京都市中京区間之町通竹屋町下る
 楠町601-1

TEL 075-254-5001(代表)

こどもみらい館について

開館時間

(月～土) 午前9時～午後9時
 (日・祝) 午前9時～午後5時

◆1階 こども元気ランド 利用時間

(月～土) 午前9時～午後6時
 (日・祝) 午前9時～午後5時

◆3階 子育て図書館 開館時間

(月～金) 午前9時30分～午後8時30分
 (土・日・祝) 午前9時30分～午後5時

休館日

火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始

アクセス

- ◆地下鉄「丸太町」駅から徒歩3分
- ◆地下鉄「烏丸御池」駅から徒歩7分
- ◆市バス「烏丸丸太町」下車徒歩3分



京都市子育て支援総合センターこどもみらい館 開館20周年記念冊子

絵本の森からの贈りもの